



全日本写真連盟

2018. 5. 1<第29号>

兵庫 県本部

〒650-0035 神戸市中央区浪花町60 朝日新聞神戸総局内 Tel.078-331-4144

<http://www14.plala.or.jp/AJAPS/>



仲間を増やす努力を、そして、県本部の行事へ積極的にご参加のほどを…。

全日本写真連盟 兵庫県本部委員長 森田 尚

全日写連の会員の皆様におかれましては、ご健勝で日々写真作品作りに励んでおられることと
思います。

兵庫県本部では、姫路、神戸、阪神の3地区で500名(2018年1月現在)ほどの方々が登録されています。写真の世界もご多分に漏れず高齢化が進んでいますが、「初心者からベテランまで写真の好きな方ならどなたでも入会できます」のキャッチフレーズで多くの新入会員を迎えたいと思います。ご協力をお願いします。

そうした中で県本部では、今年度も各地区での初心者写真教室、県本部撮影会3回、各地区撮影会、それにコンテストは各撮影会後のコンテストも含め多数行っており、2月には各コンテストの入賞作品展も開催しています。会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

カメラの世界もデジタル化が進み、パソコンの処理や自家プリント作業など作品作りの手法は変わりましたが、表現そのものは変わっていません。これらのことについて会員皆様に役立つ勉強会などできればいいかなと考えています。

会員の皆様におかれましても、一層の研鑽を積まれまして、良い作品作りをお願いします。また、仲間づくりもしていただき、県本部行事への参加などご支援をよろしくお願いいたします。

<2018年度役員・委員紹介>

- 兵庫県本部長 小林杉男
- 兵庫県本部委員長 森田 尚(神戸)
- 兵庫県本部副委員長 坂本正子<事務局長兼務>(神戸)、山本雅也(姫路)
- 兵庫県本部事務局長 坂本正子(神戸)
- 兵庫県本部委員 <阪神地区>天野元春、入江健二(新)、入谷康一、おおいし和子、田中泰平、中村峰雄、夏目幹也、滝武弘子
- <神戸地区>垣村早苗、谷村周慈、牧野慎三、山岡成男
- <姫路地区>池田和子、大村正文、武本富重、田寺かよ子、田中 賢、萩原正良、本多昭二、松下敏和



<作品展の紹介>

- ☆ 武本富重写真展「輝<瞳II>」 5月8日(火) ~ 13日(日) イーグレひめじ市民ギャラリー
- ☆ フォトクラブ「シャドー」作品展 5月10日(木) ~ 15日(火) デュオギャラリー
- ☆ フォトグループあすなる支部展 5月15日(火) ~ 20日(日) イーグレひめじ市民ギャラリー

- ☆ 大和啓子写真展 6月7日(木) ~ 12日(火) デュオギャラリー
- ☆ フォトアングル作品展 6月20日(水) ~ 24日(日) 西宮市立アブリ甲東ギャラリー
- ☆ 影夢写作品展 9月6日(木) ~ 11日(火) 宝塚市立国際文化センター
- ☆ フォトひまわり・フォトいちまる合同作品展 9月11日(火)~16日(日) イーグレひめじ市民ギャラリー
- ☆ 兵庫県本部姫路地区委員展 9月11日(火) ~ 16日(日) イーグレひめじ市民ギャラリー

<2018年度県本部行事予定(2018年4月~2019年3月)>

行 事 名		実施日・締切	内 容
写真教室	朝日初心者教室 (阪神)	4月15日、22日 5月13日、20日	講義2回 会場:川西市アステ市民プラザ 13:30~16:30 実習2回 万博公園 会費8,000円
	朝日初心者教室 (神戸)	4月7日、22日 5月13日、27日	講義2回 会場:朝日新聞神戸総局10階 13:30~16:30 実習2回 王子動物園、須磨離宮公園 会費8,000円
	朝日初心者教室 (姫路)	4月15日、22日 5月20日、27日	講義2回 会場:姫路市民会館 13:30~16:30 実習2回 姫路城、姫路市立動物園 会費8,000円
撮影会	パートI撮影会 (実施済)	4月8日(日)	尾道の街並みを写す会(広島県尾道市) 募集人員120名 参加費7,000円
	パートII撮影会 (コンテスト募集)	9月23日(日)	焼き物の町常滑と彼岸花を写す会(愛知県常滑市) 募集人員120名 参加費7,500円
	パートIII撮影会 (コンテスト募集)	2019年3月17日(日)	半田の山車祭りを写す会(愛知県半田市) 募集人員120名 参加費7,500円
	阪神地区撮影会 (コンテスト募集)	11月4日(日)	関の宿場祭りを写す会(三重県亀山市) 募集人員40名 参加費6,500円
	神戸地区撮影会 (コンテスト募集)	10月28日(日)	牛窓の秋祭りを写す会(岡山県牛窓町) 募集人員40名 参加費6,500円
	姫路地区撮影会 (コンテスト募集)	7月7日(土)	金毘羅宮の蹴鞠を写す会(香川県金比良町) 募集人員40名 参加費7,500円
コンテスト	県本部展	8月31日締切	・自由作品 単写真 カラー・モノクロ A4又は四つ切 ・応募資格:全日写連会員 ・応募料:1,000円(郵便小為替) ・応募先 朝日新聞神戸総局 ※1 応募資格 2016年度以降に入会の新会員 ※2 インクジェットプリンター出力作品に限る
	新入会員 ※1	9月30日締切	
	自家プリント ※2	10月31日締切	
	課題「水のある風景」	2019年1月31日締切	
展覧会	県本部入賞作品展 県本部委員作品展	2019年2月19日(火)~ 24日(日)10:00~17:00 (初13:00~)(終~15:00)	県本部各種コンテスト入賞作品 約274点展示 兵庫県本部委員の作品 A3~全紙 約26点展示 会場:兵庫県民アートギャラリー
	姫路地区委員展	9月11日(火)~16日(日) 10:00~17:00(初13時~)	姫路地区の委員の作品 1人A3~全紙を3~5点展示 会場:イーグレひめじ市民ギャラリー
県本部ニュース発行(2回)		5月1日、10月1日付発行	「フォトアサヒ」5月号、10月号に同封する

※各行事についての詳細は、各支部長を通じてお知らせします。また、朝日新聞兵庫県版にも掲載されます。

<各県本部委員より>

日ごろは担当支部の方を指導している県本部委員ですが、より多くの会員の方々に、他の委員のことも知ってもらうためのコーナーです。それぞれの委員の写真に対する思いが書いてあります。(前回までの続きで、順不同です)

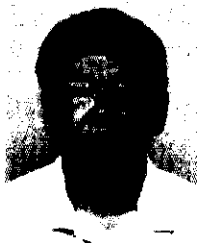
☆ 森田 尚 県本部委員の委嘱状を初めていただいてから40年が経ち、兵庫県では2番目に古い委員となりましたが、未だ作品作りに試行錯誤の状態です。初めの頃は冬の日本海の風景に魅せられて、福井県の越前海岸に通いました。冬の1~2月だけですが、36年間通って撮影し、富士フォトサロン大阪で「越前海・冬景色」のタイトルで個展を開催しました。もちろん並行して各種撮影会・コンテストに応募して入選入賞したのをはじめ、全日写連以外の写真団体にも会員、会友として活動しています。



最初にカメラを持って入会したのが全日写連で、自分の写真の原点だと思っています。

ここで写友、指導者にも恵まれてここまでやって来ることができました。これからは次に続く人を育て、協力して全日写連を盛り立てていきたいと考えています。

☆ 萩原 正良 40数年前、初めて北海道旅行した時、36枚以上撮影後にフィルムが送られていないのが分かったこと、また、初めての花火撮影がほとんど写っていなかったことなど、いろいろ失敗をしてきました。現在は以前のような失敗はしないで済んでいます。



私自身が失敗しないよう心掛けていることは、撮影中少しの合間を見てモニターで、ヒストグラムで露出、画像拡大でピントなどのチェックをしています。

最大の問題は構図とシャッターチャンス。これが永遠の課題です。そのため、私が心がけていることは、目で見えているのに写せないもの(6EV以上の露出差)を目で見えるように写す(時間差露光撮影)こと。そのため、私の撮影方法は、絞り・シャッターはMモード、ピントは三脚使用時はライブビュー拡大で、手持ち撮影時はオートフォーカスです。

多くの作品を見て、自分の世界を築けるよう心掛けています。

☆ 山本 雅也 私と写真の出会い、1980年に大手電機メーカー絵画部でデッサンを描いていた頃、兵庫県本部委員の関本寿男氏に「写真を始めないか？」と声をかけられたことがきっかけである。このことが私の人生のターニングポイントであった。寡黙な私がスナップショットを撮影するという行為は至難なことであったように記憶している。今でもそうですが・・・。



撮影の際にカメラフットワークと感性を研ぎ澄まし、体当たりで情熱を持って撮影すれば心は通じる。このことを信じて実行する。このスタンスを今も続けている。

絵の真似をしない、構図を撮る時考えない、綺麗な写真に溺れない等、写真には写真の表現がある。このことを頭の隅に置いている。

時がたてば全て過去のものとなり、記録となっていくが、写真は、今という現実をそのままプリント表現できる面白みのある写真芸術である。

アナログ写真からデジタル写真になっても、いつまでも変わらない感動する写真、心を揺さぶる写真、心癒される写真、ホッとさせる写真、決定的写真、自然界の美などを撮り続けていきたい。

☆ 田寺かよ子 近所の方から誘われ、朝日初心者写真教室に参加しました。教室での勉強といえば話は難しく睡魔におそわれ、何が何だかわからないまま終了してしまいました。



でも、動物園での撮影で、写す楽しみは教えていただきました。そして、支部に入会して今まで継続できたこと、指導して頂いた先生方や写友、良い仲間めぐりあったことが良かったことだと思います。クラブ活動では撮影会・例会がもたれ、また、年4回の県本部撮影会の日が来るのを心待ちにしていたものです。先生にはいつも「立ち止まるな少し

ずつでも前進するよう」言われていたことを思い出します。

私の人生も終焉に近づいた今、いろんな所への撮影に出かけられたこと、そして新しく多くの人たちに出会えたことなど、継続してよかったと思っています。仕事々々だけの人生でなく、写真の楽しみにここまで継続できたことに感謝しています。

今では少しでも地域の皆様にお役に立ちたいと思い、ボランティア活動にも参加させていただいています。

昨年の朝日新聞の「ひととき」欄の「幸せのはひふへほ」で、「は」半分でいい、「ひ」人並でいい、「ふ」普通でいい、「へ」平凡でいい、「ほ」程々でいい、とっています。でも、悔しい感情を持つこともあるだろうし、向上心を持つことも大切ですが、何事も過剰になり過ぎず、良い加減が大事なようです。これを読んで、これは自らを見直しなさいと気づかせてくれる魔法の言葉のように思いました。私もこれからの人生、謙虚さを忘れず、自分に合わせてゆっくりと、元気で過ごせればいいなと思っています。



<撮影地の紹介>

以前、県本部ニュースの22号で撮影地の紹介をいくらかしていますが、今回から、それぞれが好きでよく出かける撮影地を写真（モノクロ）と内容やねらいなどで紹介していきたいと思います。

・「よさこい踊り」（高知市）<武本>



開催日；8月10日、11日

内容やねらい；高知や全国のよさこい踊り好きな150を超える団体が集まって、市内の16か所に及ぶ各場所で盛大に催されます。よさこい踊りに懸ける若い女性たちの情熱を写し止めたい。



・真鍋島（笠岡市）など <武本>



行き方；山陽本線笠岡駅下車、連絡船または渡船

内容やねらい；過疎が進みお年寄りばかりになっている島の現状を写し、日本中で起きている少子高齢化についての問題提起をすることと、その島の住人の生き様や楽しみなどを紹介していく。また猫が多く暮らす島としても知られている。

